



<SELF AND OTHERS>より、1977年 撮影：牛腸 茂雄

FUJIFILM SQUARE

写真歴史博物館企画写真展

GOCHO SHIGEO 牛腸茂雄という 写真家 がいいた。1946-1983

開催期間：2016年10月1日（土）-12月28日（水）10:00 -19:00（入場は18:50まで）会期中無休

会場：FUJIFILM SQUARE（フジフィルム スクエア）写真歴史博物館

〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番3号

（東京ミッドタウン・ウエスト）

TEL 03-6271-3350

URL <http://fujifilmsquare.jp>

作品点数：約30点

入場料：無料

主催：富士フィルム株式会社

監修協力：三浦和人

後援：港区教育委員会

企画：コンタクト

関連イベント

1.（第一部）ドキュメンタリー映画「SELF AND OTHERS」

（佐藤真監督作品：2000年）上映会

（第二部）飯沢耕太郎氏（写真評論家）講演会

「牛腸茂雄と『SELF AND OTHERS』を巡って」

2016年11月5日（土）13:30 -15:30

2 三浦和人氏（本展監修協力）によるギャラリートーク

2016年11月26日（土）①14:00-②16:00-

（各回約30分）

開催趣旨：

新しい写真表現の豊穰期であった1970年代、その一翼を担う写真家として注目を浴びながら、36歳という若さでこの世を去った牛腸茂雄という写真家がありました。1946年、新潟県に生まれた牛腸茂雄は3歳で胸椎カリエスを患い、長期間にわたって下半身をギプスで固定される生活を余儀なくされたことから成長が止まり、生涯、身体的ハンディとともに生きていくことになりました。10代からデザインの分野で非凡な才能を見せた牛腸の大きな転機となったのが、高校卒業後、デザイナーを志し進学した桑沢デザイン研究所での大辻清司との出会いでした。戦後美術史に重要な足跡を残した写真家・大辻は、新しい世代の礎となる才能を数多く見出した優れた教育者でもありました。「もしこれを育てないで放って置かならば、教師の犯罪である、とさえ思った」。その回想にある言葉通りの大辻の熱心な説得は、牛腸の心を動かし本格的に写真の道を歩む決意を固めます。レンズを通して見つめる新たな世界を獲得した牛腸茂雄は、憑かれるように創造の世界に没頭し、カメラ雑誌などに発表した作品が次第に評判を呼び、若い世代の写真家として注目されるようになっていきました。何気ない日常で出会った子どもたち、家族、友人…静逸で淡々とした作品の奥からこちらを見つめる被写体のまなごしは、写真を通して「自分と世界との関わり」を探求し続けた牛腸茂雄のポートレートでもあります。その身体的ハンディゆえに「見ること」と「見られること」、「自己」と「他者」との関係性を意識することを強いられていた牛腸が世界を見るまなごしには、常に初めて世界をみたような初々しさと深い洞察が共存しています。本展は、<日々><幼年の「時間（とき）」><SELF AND OTHERS>などモノクロ作品のシリーズから精選した約30点により「夭折の写真家」牛腸茂雄の足跡をたどります。近年、再評価の新たな機運が高まる牛腸茂雄が提示する世界は、見るものそれぞれの奥に眠る記憶を呼び起こし、静かで深い感動を呼ぶものと確信します。



<SELF AND OTHERS>より、1977年 撮影：牛腸 茂雄

牛腸茂雄（ごちょう しげお）略歴：

1946年11月2日、新潟県南蒲原郡加茂町（現・加茂市）で金物屋を営む家に次男として生まれる。3歳で胸椎カリエスを患いほぼ1年間を寝たきりで送る。10代から数々の美術展、ポスター展などに入選。1965年、新潟県立三条実業高等学校を卒業後、桑沢デザイン研究所リビングデザイン科入学、その後、リビングデザイン研究科写真専攻に進む。1968年、同校卒業。デザインの仕事と並行して写真を撮り続ける。1977年、『SELF AND OTHERS』（白亜館）を自費出版。1978年、本写真集と展覧会により日本写真協会賞新人賞受賞。1983年、体調不良のため実家に戻り静養を続けるが、6月2日、心不全のため死去。享年36歳。2004年には回顧展「牛腸茂雄 1946-1983」（新潟市立美術館、山形美術館、三鷹市民ギャラリー）が開催され、2000年には佐藤真監督によるドキュメンタリー映画「SELF AND OTHERS」が製作され大きな反響を呼ぶ。2013年、『こども』（白水社）、新装版『見慣れた街の中で』（山羊舎）が相次いで刊行された。

関連イベント：

1. 「SELF AND OTHERS」上映会&飯沢耕太郎氏（写真評論家）講演会
 第一部 ドキュメンタリー映画「SELF AND OTHERS」（佐藤真監督、2000年、53分）上映
 第二部 「牛腸茂雄と『SELF AND OTHERS』を巡って」飯沢耕太郎氏（写真評論家）講演

＜内容＞

「阿賀に生きる」などの作品により、国内外で高い評価を得た佐藤真監督(1957年－2007年)により牛腸没後の2000年に製作されたドキュメンタリー映画「SELF AND OTHERS」は、牛腸を知る人のインタビューなどを一切排除し、牛腸茂雄の写真と撮影地をたどり、残された草稿、手紙、肉声などとのコラージュによって構成した革新的ドキュメンタリーとして、公開時、大きな評判を呼びました。本編上映後、牛腸茂雄の再評価の契機を作り、生前の佐藤監督とも交流のあった写真評論家の飯沢耕太郎氏に牛腸作品についてお話しいただきます。



日時：2016年11月5日（土）13:30－15:30（開場は13:00）
 会場：フジフィルム スクエア 2F 特設会場／入場料：無料／定員：150名（事前申込制）
 協力：ユーロスペース
 参加申込：10月5日（水）10:00からお電話、もしくはフジフィルム スクエア受付にて承ります。
 TEL：03-6271-3350（受付時間 10:00－18:00）

2. 本展監修協力・三浦和人氏（桑沢デザイン研究所以来の友人、本展出品作品プリンター）によるギャラリートーク

日時：2016年11月26日（土）①14:00－②16:00－（各回約30分）
 会場：フジフィルム スクエア 写真歴史博物館
 入場料：無料（事前申込不要）

*イベント内容が変更・中止となる場合がございます。予めご了承ください。

*記載事項は2016年7月現在のものです。内容が変更になる場合もございます。



写真上：<SELF AND OTHERS>より、1977年 写真下：<幼年の「時間（とき）」>より、1983年 撮影：牛腸 茂雄

＜本件に関するお問い合わせ＞ 株式会社コンタクト 担当：佐藤正子
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-59-8-503 TEL：03-3405-5081 FAX：03-3405-5082

E-Mail info.contact.tokyo@gmail.com U R L <http://www.contact-tokyo.com>

この度私たちの仕事をより多くの方に知っていただこうと、ホームページに加え、フェイスブック・ページをリニューアルいたしました。新しい企画の情報やスタッフの気になる展覧会など、これから定期的にアップしていこうと思っておりますので、ご高覧いただければ幸いです。